

## ローマ大土地所有制研究

馬場, 典明  
九州大学 : 名誉教授

<https://doi.org/10.15017/4103493>

---

出版情報 : 2020-11-30. Kyushu University  
バージョン :  
権利関係 :

# ローマ大土地所有制研究

馬 場 典 明

## 目次

### 第一部 ローマ帝政高期のイタリアに於ける大土地所有制 ——《OPVS DOLIARE》考——

#### 碑文集成省略記号

序論	・ ・ ・ ・	8 頁
第一章 >OPVS DOLIARE<の生産規模		
——>FIGLINAE<と>OFFICINA<——		
第一節 >FIGLINAE<の規模	・ ・ ・ ・	30 頁
第二節 OFFICINATORESとCONDVCTORES	・ ・ ・ ・	51 頁
第三節 >FIGLINAE<の存在形態と構造	・ ・ ・ ・	68 頁
第二章 土地所有の貴族的形態		
第一節 《FIGLINAE》=《PRAEDIA》所有主 ——私的貴族所有と皇帝所有——	・ ・ ・ ・	72 頁
第二節 大土地所有制と《OPVS DOLIARE》 ——>PRAEDIA<経営に占める>FIGLINAE<の位置——	・ ・ ・ ・	97 頁
第三章 2、3世紀の大土地所有に於ける解放奴隷		
序	・ ・ ・ ・	110 頁
第一節 Officinatoresの「移動」	・ ・ ・ ・	114 頁
第二節 Officinatoresの様態 —— 奴隷所有と単独銘——	・ ・ ・ ・	124 頁
第三節 貴族・皇帝所有「地所」の解放奴隷	・ ・ ・ ・	137 頁
第四章 2、3世紀のローマ大土地所有における解放女奴隷		
第一節 問題所在	・ ・ ・ ・	147 頁
第二節 事例・分析	・ ・ ・ ・	148 頁
第三節 貴顕身分・皇帝「地所」に於ける〈解放女奴隷〉	・ ・ ・ ・	155 頁
第五章 2、3世紀のローマ大土地所有に於ける奴隷制の態様と構造		
——《OPVS DOLIARE》奴隷銘の分析——		
序	・ ・ ・ ・	162 頁
第一節 奴隷の諸様態	・ ・ ・ ・	167 頁
第二節 奴隷officinatoresの移動	・ ・ ・ ・	176 頁
第三節 身分上昇の場としての>praedia<	・ ・ ・ ・	184 頁
第四節 貴族的「地所」に於ける奴隷制の展開 ——結びにかえて——	・ ・ ・ ・	197 頁

第二部 1世紀後半－3世紀初のイタリアにおける大土地所有の形態  
と構造

序論	・ ・ ・ ・	203 頁
<b>第一章 Ager・Fundus・Praedium</b>		
第一節 <i>praedium</i> と <i>praedia・agri</i>		
——プリーニウス(小)『書簡』の用語法——	・ ・ ・ ・	209 頁
第二節 <i>fundus</i> と <i>praedia</i>		
——キケローにおける用語法——	・ ・ ・ ・	219 頁
<b>第二章 2・3世紀のローマ周辺における土地所有事情</b>		
——《OPVS DOLIARE》銘における <i>praedia</i> 名称の分析——		
第一節 <i>praedia</i> 所有の諸形態	・ ・ ・ ・	230 頁
第二節 <i>praedia</i> 名称	・ ・ ・ ・	247 頁
<b>第三章 <i>praedia</i>と<i>fundus</i></b>		
——『アリメンタ表』の名称分析——	・ ・ ・ ・	264 頁
第一節 ) <i>fundus</i> 《の定在諸形態	・ ・ ・ ・	265 頁
第二節 南・北両イタリアにおける> <i>fundus</i> <の形状変化と ローマ周辺の> <i>praedia</i> <	・ ・ ・ ・	271 頁
<b>終章 ローマ大土地所有の形態と構造</b>	・ ・ ・ ・	288 頁

第三部 ローマ大土地所有制  
—— 経済的展開と帰結 ——

序論	・・・・・・・・	313 頁
<b>第一章 イタリア＝アムフォラの製造年代</b>		
第一節 アムフォラの諸類型	・・・・・・・・	319 頁
第二節 「コーンスル年」と貴族的関与例 ——アムフォラ銘文分析——	・・・・・・・・	331 頁
第三節 イタリア＝アムフォラの生産と編年 ——『古代地中海』の経済的展開諸相：問題提起——	・・・・・・・・	345 頁
<b>第二章 1～3世紀におけるヒスパーニア＝アムフォラ (D. 20;D. -P. 1)</b> ——西部属領における果樹栽培ウィラの展開と市場進出の諸相——		
序	・・・・・・・・	353 頁
第一節 イタリア市場におけるヒスパーニア＝アムフォラ ——事例研究——	・・・・・・・・	355 頁
第二節 《M・PORC》銘アムフォラを生産と流通 ——属領型葡萄酒アムフォラの一事例——	・・・・・・・・	374 頁
<b>第三章 アムフォラの市場後退とローマ＝ウィラ経済</b>		
第一節 〈ドレッセル I型〉アムフォラの消滅とイタリア果樹栽培	・・・・・・・・	388 頁
第二節 〈ドレッセル II-IV型〉(D. 2-4)アムフォラの消滅 ——イタリア＝ウィラ経済展開図式の再検討——	・・・・・・・・	415 頁
第三節 〈ドレッセル II-IV型〉アムフォラの消滅とヒスパーニア＝ウィラ	・・・・・・・・	448 頁
第四節 3-4世紀のパエティカにおける果樹栽培ウィラの構造的変化	・・・・・・・・	466 頁
<b>第四章 ローマ大土地所有制の展開</b>		
第一節 ウィラ経済の展開と地中海流通	・・・・・・・・	479 頁
第二節 1世紀後半-2世紀初のイタリア大土地所有制 ——ローマ『農書』の再検討——	・・・・・・・・	506 頁
第三節 1世紀末・2世紀初のイタリア＝ウィラにおける奴隷制と小作制 ——プリーニウス(小)『書簡』——	・・・・・・・・	528 頁
<b>第五章 ローマ〈ウィラ経済〉の衰退と終焉への道</b> ——帰結と展望——	・・・・・・・・	562 頁

## 付論

I	《SERVI VICARII》考 ——ローマ帝政初・中期における奴隷制の構造——	・ ・ ・ ・	578 頁
II	1・2世紀交のイタリア大土地所有における小作地運営 ——プリーニウス(小)『書簡』にみえる《コロニー》支配——		
	(一) “Actores”考 ——Plin. <i>Ep.</i> III, 19——	・ ・ ・ ・	596 頁
	(二) “Exactores”, “Custodes”考 ——Plin. <i>Ep.</i> IX, 37——	・ ・ ・ ・	604 頁
III	ローマ農業の生産性	・ ・ ・ ・	615 頁

## 付録

図版(第三部)

初出・原題

参考文献目録

後記